

輝くひと

第5回

声で伝える 物語の世界

山口 満理菜さん(緑岡中)



地域の図書館や学校で、読み聞かせの活動などを行っている人が、さらに技術の向上を図り、読み聞かせに親しむ機会として開催されている茨城県の「読み聞かせコンクール」。今年の2月に行われた「自由部門」の高校生以下の部で、最優秀賞である「知事賞」を受賞したのが、緑岡中学校3年生(受賞当時2年生)の山口満理菜さんです。

小学校で図書委員になったことがきっかけで、読み聞かせを始めた山口さん。6年生の時に、顧問の先生から誘いがあり、読み聞かせコンクールに出場しました。その後、もっと上手に読み聞かせができるようになりたいと、今回のコンクールへの出場を自分で決めました。

読み聞かせに使う本は、聞いている人に伝わりやすい物語が主。イメージが膨らむよう、楽しい場面では楽しそうに、悲しい場面では悲しそうに、声色

や表情を工夫して読み進めていきます。「聞いている人の表情が変わったり、反応があったりすると、調子が出ます」という山口さん。読むスピードや発音、間の取り方にも気を配ります。

読み聞かせには、エプロンを着けてポケットから人形などを出しながら表現する「ポケットシアター」や、複数人で読み進める「群読」など、さまざまな方法があります。山口さんは、「一人で物語を進めていく読み聞かせは、シンプルな分、聞き手に伝わるように読むのは難しい。でも一番おもしろい」と、その魅力を語ります。

これからも読み聞かせを続けていきたいと言う山口さん。聞いているだけで、まるでその物語の世界にいるかのように感じられる読み聞かせをすることが目標です。自分のペースで、一步ずつ、輝く夢に向かっていきます。

問2

観光・物産

次の清酒のうち、水戸市内の酒造メーカーの銘柄ではないものはどれでしょうか。

- ① 副將軍
- ② 一品
- ③ 三ツ扇
- ④ 菊盛

正解率

52%

問1

歴史・史跡

代々江戸定府であった水戸徳川家ですが、次の藩主のうち、一度も水戸に帰国しなかったのは誰でしょうか。

- ① 3代 綱條(つなえだ)
- ② 7代 治紀(はるとし)
- ③ 8代 斉脩(なりのお)
- ④ 10代 慶篤(よしあつ)

正解率

29%

知ってる?

知っ得!

水戸
検定

第35回

問題監修 茨城大学

主催 水戸検定実行委員会

問1...③ 8代斉脩は、7代治紀の長男ですが、病弱であったため、一度も水戸に帰国しませんでした。問2...④ ①は那珂市の木内酒造の銘柄です。①は明利酒類、②は吉久保酒造、③は灘田酒造店の銘柄

正解